

# 公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



## 特集 新しい時代に応える公民館

- 4.5
- 2 トピックス 第59回新潟県公民館大会は上越市で
  - 3 視点 図書館と学校を結ぶ一方策
  - 3 ひろば 公民館と協働で地域づくり
  - 6 実践記録シリーズ 元気です！上越市名立の公民館
  - 7 サークル交流 地域に貢献(妙高市)／えほんは楽し!!(弥彦村)
  - 7 素顔拝見 平沢 英樹さん(小千谷市)／南雲 章宏さん(湯沢町)



②



③



④

### 阿賀野市生涯学習フェスティバル'07

○オープニングセレモニーから

表紙解説

- ①アトラクション「松井町子ども太鼓」の演奏
- ②田中副市長 あいさつ
- ③市民代表による「生涯学習のまち」宣言
- ④「親子でベビーマッサージ」

# 第59回新潟県公民館大会は上越市で

## 20年7月18日(金)

### 会場は「リージョンプラザ上越」



上越市立公民館長  
星野 正行

最初に、この度の新潟県中

越沖地震の被害にあわれた皆様、心からお見舞い申し上げますとともに、健康にご留意され、一日も早く復旧されますことを心よりお祈り申し上げます。

私は今回の地震の時、茶の間にいたところ、ドーンと突き上げるような揺れとともに大きな地震に見舞われ、家中の家具が倒れたりして身を守るのがやっとでした。揺れが収まってから、散乱している中をやっとの思いで外に出て、家族の無事を確認しながら周りをみると、屋根瓦が崩れ落ちている家が数軒あり、地震の大きさに恐怖と驚きを感じました。

あれから早いもので1カ月が過ぎ、漸く普通の生活に戻っていますが、柏崎市等では依然避難所生活の方が大勢おられるとのこと、残暑厳しい中頑張っていたきたいと

思います。

今回の地震災害は、当市においても震度6弱の揺れとなり、震源地に近い柿崎区や吉川区、三和区に被害が多く発生している他、ほぼ全市で被害が発生しております。

地震による死者はいなかったものの傷病者183人、住宅被害では全壊13棟、半壊や一部損壊が2、263棟に及びました。この地震に対し、皆様方から多方面にわたりご支援をいただいたことに対し厚く御礼を申し上げます。

さて、第58回新潟県公民館大会が、村上市を会場に盛大に開催される予定でありましたが、今回の中越沖地震災害で止むなく開催中止になってしまいました。

大会準備をされた村上市並びに関係者の皆さん、大変残念なことと思いますが、紙上大会に向けて資料作成等よろしくお願いいたします。

ところで来年の第59回新潟県公民館大会は、上越市で開催

## 第58回大会決議文案

県内の市町村大合併もここ県北地域の合併で、いよいよ最終段階となった。

一方、公民館の歴史が61年を迎える中で、公民館を取り巻く環境は一層厳しさを増してきている。とくに平成の大合併は、行政エリアの拡大により行政機関ばかりでなく、公民館の統廃合、職員の削減が進められている地域もあり、公民館は大きな岐路に立たされている。

このような厳しい状況の中で、公民館が何の問題意識も持たず先人の遺産に依存しては、公民館の役割・存在意義が大きく問われることになる。早速これらの諸問題を直近の重要課題としてとらえ、事業見直し等を含めた職員研修会を起ち上げている所もある。

そこで私たちは、公民館が生涯学習推進の中核施設として、また、まちづくり、地域づくり、人づくりの拠点として今後も一層重要な役割を果たし、各行政機関、団体、地域住民の理解・協力を得るため、ここに大会決議する。

記

### 1. 公民館の置かれた厳しい現実を真摯に受けとめ、関係職員の意識改革と研修のより一層の充実を図る

- (1) 公民館の設置及び運営に関する基準の趣旨を踏まえ、自らの職責を強く自覚し、地域住民の要求課題・必要課題を的確に把握し、多様な講座・事業の実施に努める。
- (2) 公民館の講座・事業等の推進のため、施設・設備の整備を働きかけ、資料の蓄積や指導体制を整える等職員研修のより一層の充実に努めるとともに、自らの力量の向上を図る。
- (3) 事業評価の改善を図り、またボランティア等の人材をいかして、活力ある公民館の再構築を目指す。
- (4) 地域住民の学習を支え、その成果を地域に積極的に還元していくよう努力する。

### 2. ブロック公連の再編と新しい研修組織の確立定着化を図る

- (1) 新しい研修組織の編成・確立により諸研修を一層実りあるものにする。また、研修未実施の地域にあっては、早急に研修体制の確立に努める。
- (2) 研修組織・研修内容の充実のため、当該市町村及び公民館と連携を図りながら、研修予算の確保・人的支援体制の充実に努める。

### 3. 新潟県公民館連合会の果たすべき役割を積極的に行う

- (1) 県公連の役割・組織のあり方を再検討し、組織・運営の活性化に努める。
- (2) 県公連財政基盤確立のために、各公民館の一層の努力を促すと共に、引き続き自主財源確立の方策について検討を進める。また、県市長会、県町村会、県公民館振興市町村長連盟と密接な連携を図りながら、県公連の財政基盤確立強化に努める。
- (3) 全国的にも評価の高い「新潟県公民館月報」の紙面充実を図りながら、県内外に情報を発信していく。

※平成19年9月26日臨時評議員会で承認予定

第58回新潟県公民館大会

催することになっております。当市は14市町村が合併して3年目となり、本年4月には特例市として新たなスタートを切りました。

また本年は、親鸞聖人上陸800年、NHK大河ドラマ「風林火山」の放映など、「ふるさとアピール年間」と位置

付け、様々な施策を展開しております。

このような中で、来年度の県公民館大会は、20年7月18日(金)「リージョンプラザ上越」を会場に開催いたしますので、県内の公民館関係者の大勢の参加をいただきます。心よりお待ちしております。

# 視点

## 図書館と学校を結ぶ 一方策



朝日村立小川小学校長 佐藤 強平

岩船郡内七市町村の中で、市町村単独で、「図書館」という名称で館を設置しているのは朝日村だけである。村文化会館の一階に位置し、蔵書数は二万八千六百冊超である。

司書資格を有する職員が教育課（公民館）で、社会教育係として執務をしている。そこで、学校における図書館教育を活発化させる一方策として、村図書館司書に、読み聞かせとブックトークを依頼した。

当校では初めての試みとあって、どの学年の子どもた

ちも輝く瞳で本のページを追う、真剣な眼差しで話に聞き入っていた。また、読み聞かせのボランティアアグループの方にもお出で願ひ、読み聞かせをしていただいた。絶妙な語り口に、どの子も本の世界に引き連れ込まれていた。子どもたちからは、「続きを読んでみたい」「もっとお話しして欲しい」との感想が聞かれた。

このような試みを通して、学校と公民館との繋がりが深まり、子どもたちの読書意欲が高まることを願っている。

私は、区の基幹公民館の坂井輪地区公民館では運営審議会委員、黒埼地区公民館では公民館活動協力員、立仏校区ふれあい協議会（地域コミュニティ協議会）では、会長、黒埼地区青少年育成協議会では副会長として、地域づくりにかかわっています。

昨年度から、黒埼地区公民館と立仏校区ふれあい協



新潟市では、政令指定都市移行に伴い、中央公民館と二十三地区公民館にあつた運営審議会を区単位の八審議会に再編しました。審議会が廃止された公民館では、公民館活動協力員制度が新たにスタートしました。

議会の共催で、安心安全を切り口に「地域学」を開催しています。同じく昨年度から、同公民館と黒埼地区青少年育成協議会との共催で、中高生対象の居場所『黒埼フリースペース』を開催しています。公民館との協働により、事業の幅が広がり、質も向上しました。

これからも公民館と協働で、地域に根差した、互いに顔の見える、温かな地域づくりを積極的に推し進めていきたいと考えています。

# HOT NEWS

## 掲 示 板

### 平成19年度新潟県公民館 振興市町村長連盟総会の開催

- 1 日時 平成19年8月29日（水）  
午後2時30分～4時
- 2 会場 新潟市生涯学習センター



- 3 議事
    - 第1号議案 平成18年度事業報告
    - 第2号議案 平成18年度歳入歳出決算について
    - 第3号議案 役員承認について
    - 第4号議案 平成19年度の重点目標並びに事業計画について
    - 第5号議案 平成19年度歳入歳出予算について
    - 第6号議案 第58回新潟県公民館大会の共催について
    - 第7号議案 新潟県公民館振興市町村長連盟の今後のあり方について 19年度末解散中越沖震災見舞いについて
  - その他
    - 4 事例発表
- 活動中「はまなす学会」  
新潟・はまなす学会理事  
伊藤 弘子 様

## 公民館と協働で地域づくり

# ひろば

新潟市坂井輪地区公民館運営審議会委員 山際 幸子



# 公民館 ～現代的な課題にどう取り組むか～

- ・地域課題を取り上げた主催事業が開催されているか
- ・グループ、サークルなど団体活動が地域を意識しているか
- ・「公民館だより」の内容が地域づくりに役立つものになっているか

## ②住民主体の活動が定着しているか

- ・学級、講座の学習プログラムを住民が主体的に作成しているか
- ・文化祭などの地域行事の企画は住民主体になっているか
- ・「公民館だより」は、住民参加の編集委員会によって内容が検討され発行されているか

## (2) 公民館職員と住民が公民館の本質とその役割を正しく認識しているか

- ・両者が公民館のことを知らなければ公民館になるはずがない
- ・どうしたら職員と住民が公民館のことを認識し考えあえるようになるか—公民館主催による「公民館入門教室」の開催、「グループ、サークル代表者研修会」の開催、利用者懇談会など住民主催（場合によっては公民館と共催）による公民館を学ぶための講演会、学習会、シンポジウムなどの開催

## 4. 公民館をめぐる新しい動向について

- (1) 市町村合併による統廃合一公民館数の減少、職員の削減、活動の低下
- (2) 一般部局への移行、補助執行—教育機関から貸館化への移行

- (3) 指定管理者制度の導入—法制度を無視した公的責任の放棄（貸館化、有料化、職員の削減、事業予算の削減、住民主体の活動の形骸化など）

## 5. 格差社会の進行による新しい格差と貧困の広がり

- (1) 地域破壊—自己中心的な価値観
- (2) 生活破壊—昼と夜が逆の生活が浸透
- (3) 人間破壊—道具が使えない人間
- (4) 人格破壊—やっていいこと、悪いことの区別がつかない人間が増加

## 6. 現代的な課題にどう取り組むか—時代に応える公民館活動の創造をめざして—

- ・地域社会は日本社会の縮図である
  - ・だから地域に地域課題は必ず存在する
  - ・まず、地域に存在する固有の現代的課題をひとつだけの確に把握する
  - ・そのひとつの課題を解決するにはどうしたらよいか—地域ぐるみで検討する
  - ・課題解決のためにどのような公民館活動が必要かについて考え実践する
- \* 「街づくりセミナー」の取り組みから

## おわりに

- ・いま、地域社会は原点と原則にもとづいた公民館活動を待っている
- ・いまこそ公民館の出番である
- ・自信を持って元気よく新しい活動の歩みを開始しよう

# 特集

# 新しい時代に応える

元さいたま市立岸町公民館長

片野 親義



## はじめに

- ・いま公民館は内と外から問われている
- ・何が問われているのか、何が課題なのか
- ・新しい公民館活動の創造をめざすために

## 1. 公民館の二つのタイプとその特徴

- ・2005年度文部科学省編「データからみる日本の教育」…館数、職員数、利用者数

公民館数—18,819館

職員数—57,907人

利用者数—約2億2千万人(年間)

- (1) 18,000館を超える公民館は大きく二つのタイプに分けられる
  - ①ただ賑やかだけの公民館
  - ②公民館らしく賑やかな公民館
- (2) なぜ、この二つのタイプに分かれるか
  - ・①のタイプの公民館の特徴—職員も住民も公民館の役割をまったく認識しないまま活動が行われている
  - ・②のタイプの公民館の特徴—職員か住民のどちらかが、または両者が公民館の役割を認識した上で活動が展開されている

## 2. 公民館は何のために設置されたか

- (1) 権利としての学びを保障する場所
  - ・憲法、教育基本法、社会教育法という現行教育法制に流れる理念は「学ぶ権利の保障」である
- (2) 「地域づくりのセンター」として

- ・寺中作雄著「公民館の建設」(1946年刊行)から
- ・公民館を作った三つの理由(寺中構想の基本)とは

- ①平和主義と民主主義を身につける
- ②文化の香り高い人格をみがく
- ③地域に産業を興し、地域の政治を立て直し、地域の生活を豊かにする

\*この公民館を作った三つの理由は公民館が、「地域づくり・社会づくり」のセンターとして構想されたものであることを明確にしている

この構想を公民館活動の「原点」として捉える必要がある

- (3) 社会教育・公民館活動における三権分立とは(社会教育法の条文から)

- ①学びの主体は住民である—第2条、第10条
- ②学びの援助者は職員である—第9条の3、第11条、第12条
- ③学びの援助者は国と地方公共団体である—第3条、第11条の2

\*このような住民、職員、行政の役割分担を公民館活動の「原則」として捉えることが出来る

## 3. いま、公民館が問われていること

- (1) それぞれの公民館で原点と原則に沿った活動が蓄積されてきているか
  - ・いま、公民館活動の総点検をする必要がある。総点検は、次の二つの視点から行われるべきである
  - ①地域課題を取り上げているか

# 実践記録 シリーズ 114

表2のような分館事業に結実しました。高名な講師を呼んで大々的に開催する事業はなく、地域に密着した小さな事業ばかりです。このような地に足が着いた事業の積み重ねが、今後の長いまちづくり活動に繋がっていくのだと考えています。

## 元気です！ 上越市名立の公民館

上越市立公民館 名立地区公民館

主任 沢田 繁



### 1 はじめに

～僕も『公民館の建設』を思った…～(省略)

### 2 上越市の公民館活動・まちづくり活動

- 1) 上越市ふるさとアピール年間 (省略)
- 2) 上越市の公民館 (省略)
- 3) 上越市のまちづくりと名立区での試み～地域自治区(地域協議会・総合事務所)・住民組織～(省略)

### 3 名立地区公民館の活動

首長部局が主になって、地域自治区内で住民組織を中心に、市民の手によるまちづくりを進める基盤が、このようにつくられていく中で、では「同じ地区を対象とする公民館や社会教育事業はその役割をどう果たしていくべきか」という重い課題が、突き付けられていました。総合事務所内部でも、住民組織が各地区で生まれたことにより、公民館分館の必要性を問う意見も一部にはありました。公民館(事業)は、ご承知のように、モデルや基準が決まっています、その通りにやれば良いというものではありません。

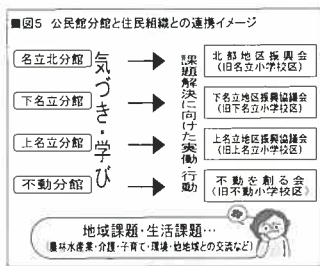
そこで考えることは、「原点に帰る」こと。

『公民館の建設』や『公民館図説』などをあたり、公民館が発案された意図や、隣り間の全国展開に関わった人たちの想いは…?

旧名立町の公民館を創り上げてきた役員や社会教育主事の先輩たちは、どう考え何を行ったか?

そんなことを探りながら、同時に、公民館各分館推進員と何度も会合をもち、キャッチボールを続け、公民館分館と住民組織との役割分担を、図5のように整理しました。

地域の様々な課題は、“学び”にもとづく“気づき”が無ければ、表に出てきません。公民館分館事業を通じて明らかになった課題を、住民組織が受け止め、今度は、課題の具体的な解決を、住民組織が担って行く。そんなイメージ・考えに整理しました。



このような考えで、各分館の具体的な事業計画・内容の見直しを行いました。見直しにあたって、地区公民館として支援を行ったのは、「子ども」・「お年寄り」・「地域」という3つの視点を提案したのみです。この3つは、今後、各地区でのまちづくりを考えた中で、重要なキーワードになるものですし、推進員を中心に、各地区の住民組織と連携を図っていただきたかったからです。

協力員・推進員さんが、何度も集まり、知恵を出しあって、

■表2 平成19年度名立地区公民館事業

名立地区公民館	友好都市との子どもたち交流会／高齢者大楽院・高齢者学級・高齢者体育の集い 芸術文化フェスティバル／名立乳幼児家庭教育学校・たちばな乳幼児家庭教育学校 名立太鼓・少年太鼓クラブ／名立女性学級・上名立女性学級・不動女性学級 子どもたちの教育を考える集い		
名立北分館	下名立分館	上名立分館	不動分館
昔の映画上映会	山野草を求め歩こう	押し花教室	つきいち教室
親子でキャンプ	新しい仲間を知らう(愛国公園)	体づくり教室	ふるさとを探検しよう
盆踊り講習会	ふるさと民芸教室①	フォトコンテスト	花と遊ぼう
地元のお魚教室	ふるさと民芸教室②	区民作品展	すてきなお話し会
実用！刃物研ぎ教室	ふるさと民芸教室③	男の料理教室	新春講演会
ミニ門松づくり教室	サマースクール(3分館で共同開催)		

なにせ4月から始まったことですので、開催状況などを、たくさんご紹介できず心苦しい限りですが、計画・予定などの一部をご紹介します。

### 【名立北分館地元のお魚教室・実用刃物研ぎ教室】

海岸部に位置し、市内最大の名立漁港を抱えるこの地域・分館では、地元で獲れ、いつも食卓に上がる魚介類について、あらためて学んでみよう、と、地元の漁師さんを講師に教室を行います。

また、当日はその魚介類を使った調理実習も行う予定ですので、事前に包丁やナイフなどの手入れ方法を伝授する「実用！刃物研ぎ教室」も開催します。

### 【上名立分館フォトコンテスト】

ふるさとの人の営みや自然を、あらためて知り見直そうということで、「ふるさと上名立フォトコンテスト」を開催し、現在、作品を募集しています(写真)。住民組織とも連携して、「交流」という視点も加え、地元の豪華産物を賞品に、地区内だけでなく、市内外からも力作をお待ちしています。



### 【下名立分館ふるさと民芸教室】

「竹の育ちが悪い場所」と言われる名立区にあって、比較的多く孟宗竹林がある下名立地区では、主に子どもたちを対象にし、地元のお年寄りを講師にして、「ふるさと民芸教室」を開催します。実際に竹を切るところから始めて、「導入」となる第1回は、夏に、その竹を使って「流しソーメン」を行います。次の第2回では、お年寄りが、昔を思いだしながら、竹を使ったスキーとそりづくりを指導します。最終回では、そのスキーとそりを使って、大人も交じって、大いに遊びまわります。

### 【不動分館ふるさとを探検しよう】

今の大人たちが子どもだった時代。TVゲームも無く、地域の野山や神社などが格好の遊び場でした。そんな経験とふるさとの名勝・旧跡を子どもたちに伝えようと、夜な夜な公民館に集まって、大人たちが昔話をしました。第2回目は、住民組織が主催する運動会を借りて、お年寄りから子どもたちまで揃って、その場所の看板づくり(写真)。次回は、その看板を設置しながら、地区をまわって、昔話や経験を子どもたちに話し伝える計画です。



### 4 おわりに～温故知新と連携・共有～

「公民館の設置によって人々の教養を高め、自主的自立的な気構えを養ってゆくことが何と言っても新日本建設の基礎となるのである。全国各町村に本当の「其の町村のもの」としての健全な公民館が生まれ全地方の町村民の間から日本更生の息吹がむらむらと湧き上って来ることを心から期待するものである。」と寺中作雄氏は、『公民館の建設』の最後をこう締めくくっています。

市町村合併によって、どこでもまだまだ公民館・社会教育事業のあり方について、模索が続くものと思われます。上越市名立地区公民館の例は、そのうちのホンの一つに過ぎません。今回の大会を機会に、さらに公民館の繋がりが広がって、新しいまちづくりの息吹がドンドン湧き上がってくることを、大いに期待しています。

皆さん、頑張りましょう！

地域に貢献

トップハット

サークルが発足して25年になります。会員数は15名ですが、週一回2時間のレッスンを、月4回やっています。年齢は50代60代の人達が多く、決して皆若くはありませんが、見た目や気持だけは同じ年代の人達とは、比較にならない程元気です。

そんな会員の人達と、昨年は大きなパーティーをさせて頂きました。子ども達を地域で守るためのチャリティパーティー。拉致被害者の早期救出を願うチャリティパーティー。このパーティーで、沢山のダ



ンス愛好者の人達の関心を得ることが出来、大成功に終ることが出来ました。好きなダンスを通じ、地域に貢献出来る事ができて、会員一同幸せを感じております。今後この活動を未長く取り組んで行きたいと思えます。

妙高市・トップハット  
代表 岡本美重子 記



えほんは楽し!!

やひこえほんの会

子どもたちの活字離れを防ぎたい、自由にお話の世界で遊んで欲しい...これは親ならずとも、大人が子どもたちに願うことではないでしょうか。

「やひこえほんの会」は、そ



んな気持を持つ仲間が何とか時間をやりくりして活動しています。現在は小学校の朝読書、赤ちゃんから乳幼児への絵本紹介を公民館と連携してやっています。

幸いこの夏、「子ども読書活動推進事業」ボランティアリーダー養成講座」が弥彦で開かれました。他市町村で同じような活動する方たちと話し合い、グループを作り、新たな気持でお話会のプログラムを組む楽しさ。また新たな気持で、絵本の扉を開くことができそうです。

弥彦村  
公民館ボランティア  
高橋ゆみこ 記

今年の4月からわが生涯学習班に配属になった若手のホープで、伸び盛りの27歳の独身です。只今優しく明るい彼女募集中。特技は買った本を読まずにしまっておく(ん?)こと、趣味はサッカー選手のDVD鑑賞とのこと。元々人と争うようなことは殆どしないタイプなので、子ども達からお年寄りまで誰からも慕われております。

湯沢町教育課 生涯学習班  
主事 南雲 章宏さん



公民館活動の中でも特に、日々の貸館事業や町発行の「広報ゆざわ」の原稿収集、ゲートボール協会の事務局担当等として日夜奮闘しております。しかし、何でも一人でやる性格から、時に周りを心配させますが、同僚や上司に採まれながら一生懸命頑張っている姿に今後の飛躍を期待。これからも健康に気をつけ、明るく元気で頑張れ、ファイトー!

(教育課 生涯学習班長兼公民館長 田村久芳記)

平沢君は、社会教育課社会教育係の中堅職員として、主に社会教育施設の管理運営や青少年の健全育成、高齢者教育に関する社会教育・公民館事業に積極的に取り組んでいます。

彼の持ち前の明るい性格と物腰のやわらかさは、対応する若者から高齢者まで幅広く受け入れられています。

7月16日に発生した中越沖地震では、新潟県警察本部からの要請に応じ、当市小千谷市教育委員会 社会教育課社会教育係

主査 平沢 英樹さん



の「市民の家」を、柏崎市・刈羽村の被災地に駆けつけた全国の警察官の宿泊施設として使用。17日から28日までの間、延べ492人の宿泊者を受け入れました。彼は、この受入れに際して既予約者への連絡調整や受入れ態勢の整備に精力的に活躍してくれました。

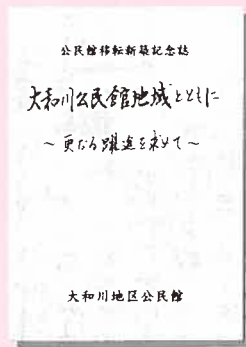
今後、職務の遂行に一層磨きを掛け、職場をリードしてくれることを大いに期待しています。

(小千谷市教育委員会社会教育課参事(課長補佐) 大塚幸夫 記)



北陸新幹線保守基地建設用地にかかわり、大和川地区公民館が移転、新築されることとなった。この移転を契機に、27年にわたるこれまでの歴史を振り返り、今後の励みにする、という主旨で記念誌を作成された。

内容は、○発刊あいさつ、祝辞、略年譜、写真で振り返る歴史、○終戦後、大和川を取り巻く当時の状況・大雲寺塾の開講、○大和川公民館の



設立と活動、○分館の活動、○終戦後の青年団活動、○寄稿文、○公民館報、分館報、青年団ニュース等から構成されております。

## 恵贈資料紹介

### 大和川公民館地域とともに

### 糸魚川市大和川公民館

とくに、昭和22年時の貴重な文献資料が保存、再生されたことです。第一回新潟県社会教育研究大会日程、公民館運動とは、新潟県社会教育課文書等です。

また、ガリ版手刷りの支館だより、分館ニュース、青年団ニュースも価値ある保存資料です。

発刊に尽力された関係各位に敬意を表する次第です。

# Net work

## 平成19年度 中越地区公民館職員研修会開催案内

- 趣旨 (省略)
- 主題 住民への社会教育を進める公民館事業はどう進めればよいか。  
～住民の声を公民館事業に生かすグループワークの手法を学ぶ～
- 主催 中越地区公民館連絡協議会 新潟県公民館連合会
- 共催 主管市町村教育委員会
- 主管 小千谷市公民館・魚沼市公民館・川口町公民館
- 期日 平成19年10月4日(木)
- 会場 魚沼市 堀之内公民館
- 日程

9:30	10:00	10:20	11:00	12:00	13:00	15:00	16:00
受付	開会式	オリエンテーション 理論講義	分散会 グループワーク (1)	昼食	分散会 グループワーク (2)	グループ 発表	

- 開会式・閉会式  
(開会式)  
主催者あいさつ 中越地区公民館連絡協議会長  
研修会の趣旨 主事部会代表  
(閉会式)  
グループ内で主事部会部員が終わりにする。
- 研修内容  
(1) オリエンテーション 指導者講師による理論指導  
(2) グループワーク1、2 指導者講師による実践指導  
(3) グループ発表 司会 主事部会担当
- 指導者紹介  
指導者 清水隆太郎 様  
プロフィール：NPO えにしや、県立生涯学習推進センターのワークショップ研修の講師経験…。
- 参加費 無料

## event information

平成19年9月の催物ご案内

夏休みは終わっても  
まだまだ楽しいっばいの  
自然科学館

# 28日(金)の夜はナイトミュージアム!

サイエンスボランティアによる工作教室

### 『プテラノドン飛ばそう!』

実際のプテラノドンに近い20分の1の模型を組み立てて飛ばします。

【日時】9月16日(日) 1回目13:00～  
2回目14:00～

【場所】サイエンスラボラトリー (自然の科学3階)

【定員】各回先着20名

【参加料】入館料のほかに  
材料費50円



料金	項目	小・中学生	大人
	入館料	100円	550円
	入館料+プラネタリウム観覧料	200円	750円

◇9月の休館日は3日・10日・18日・19日(保守点検日)・25日です。  
◇プラネタリウムはソフト入れ替えのため9月11日(火)～14日(金)の授映はお休みします。

サイエンスボランティアによる実験教室

### 『不思議なかたちのシャボン玉』

いろいろな形にした枠にシャボン液の膜を作ってみましょう

【日時】9月23日(日) 1回目13:00～  
2回目14:00～  
3回目15:00～

【場所】サイエンスラボラトリー (自然の科学3階)

【定員】各回先着24名

【参加料】入館料のほかに材料費50円  
※汚れることがありますので、汚れてもよい服装でご参加ください。



- 幼児、障害者手帳をお持ちの方は無料です。
- プラネタリウムを観覧される場合は入館料が必要です。
- 20名以上(有料入館者)の団体は割引制度があります。

お問い合わせ先  
新潟県立自然科学館 電話 (025) 283-3331  
FAX (025) 283-3336

第58回県公民館大会の事後処理対応に、思ったより時間がかかっております。(鈴木記)

あ  
と  
が  
き

す。臨時評議員会では、対応経緯、予算執行状況、大会記録誌の作成状況について、中間報告する予定としております。(鈴木記)